

社会福祉法人
真宗協会
帯広はちす園

そよかぜだより

冬季号



↑クリスマス行事に皆さまでデコレートした、世界でたった一つのオリジナルケーキです。

お品書き

- ・寒くても元気いっぱい！冬の帯広はちす園
 - ・待ちに待ったあの行事！クリスマスパーティー特集
 - ・食欲全開、秋の味覚テイクアウト食博会
 - ・感染症に気を付けて・・・外出行事特集
 - ・今年も笑顔で締めます！スナップショット
 - ・いざという時の意識、職員研修情報&七面鳥4コマ
 - ・がんばる利用者様 就労支援事業所の取り組み
- 編集後記



力作！不思議の国のアリスの
チェシャ猫とほいチーズ★

この時期、園内ではクリスマスから正月飾りへと間を置かず、装飾が変わり、年末のにぎやかで気忙しい雰囲気を演出しています。

今号では冬を迎えますますます元気に仕事や活動、余暇を楽しみ利用者様の様子をお届けします。

(奥村支援員)



サンタ姿にウキウキ。一番似合うのは誰かな？

一年に一度の素敵な一日

12月24日金曜日、今年もきらびやかなクリスマスパーティーが開催されました。今回は手作りクリスマスケーキの飾りつけからスタートし、利用者様は色とりどりのフルーツやチョコスプレーに生クリームなど様々なトッピングをご用意し、たった一つのケーキが出来上がりました。創作デコレーションケーキと共にクラムチャウダー等の身体が暖まるメニューや和洋中、様々な料理が食卓いっぱい広げられ、大満足の様子でした。



おいしいごちそうで身もバもホカホカ!



Merry Christmas

サンタさんからの☆贈り物☆



わくわくの瞬間...!

待ちに待ったプレゼント!!

その後はいよいよプレゼントタイムです。事前に利用者様の要望を伺いプレゼントとしてご用意しました。手袋や帽子といった冬にちなんだもの、映画のディスクやポータブルラジオといった家電製品等、皆様バリエーションに富んだ品を手にも、嬉しそうにパーティーに参加されていました。今年もいよいよあと少しとクリスマスは暮れて行くのでした。(山田支援員)

テイクアウトランチ

今では利用者様の楽しみのひとつとなった「テイクアウト」を活用した食事会企画です。10月10日の昼食には回転寿司「はま寿司」さんから、海鮮丼をテイクアウト。11月3日の昼食にはハンバーグレストラン「びっくりドンキー」さんから、ハンバーグ弁当をテイクアウトして召し上がって頂きました。

このテイクアウト食事会は、メニュー表を見て食べたい物を悩みながら選んで楽しみ、そして、その日を中心待ちにすることで長い期間ワクワクできる良い企画です。

当日は普段の給食にはないトロやサーモンが乗った海鮮丼やおいしそうなハンバーグを夢中で召し上がり、心もお腹も満たされた様子です。利用者様からもとても好評でした。



食欲全開の秋

「セロトニン」という脳内物質が影響する説や、単においしいものがたくさんあるからという説など様々あるようですが、食べ物が美味しく感じる季節です。

そんな食欲の秋を存分に楽しんだ利用者様の様子をご覧ください。



秋と言えば焼き芋!

11月14日に焼き芋行事

を実施しました。昨年から行っている焼き芋の提供は美味しいものが食べられるとあって、利用者様にもとても喜ばれており、楽しみにしている人が多い行事の一つです。3時のおやつとして提供した焼き芋は、職員が炭火で焼き、焼き立てのお芋を食べて頂きました。秋の味覚を存分に味わっていただけるように、「紅はるか」と「シルクスイート」の2品種を用意しました。2品種ともとても甘い味で、美味しく焼けたお芋を提供することが出来ました。利用者様も「美味しいね」「甘いね」と話しながら、ほくほくのお芋を笑顔でおかわりされていました。お腹いっぱい焼き芋を食べ、食欲の秋を満喫した様子でした。

(廣江支援員)

十勝

を巡る

小旅行

感染症が落ち着いてきた10月より外出行事を本格的に再開しています。外出を楽しむ利用者様の様子を紹介します。



- ① 10月5日「秋の牧場」コース
- ② 10月8日「動物とクレープ」コース
- ③ 11月8日「食欲の秋」コース
- ④ 11月10日「温泉のんびり」コース



①

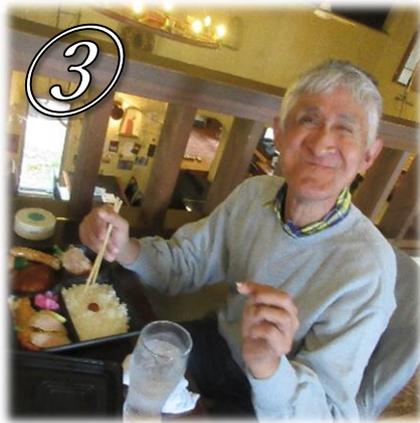
生活科の5名で大樹町の「夢がいっぱい牧場」に出掛けました。ポリュームたっぷりの定食と食後にはかき氷を食べて、皆様大満足の様子でした。また、車窓からの豊かで壮大な光景を楽しむ時間ともなりました。



②

ケアサポート科5名で帯広動物園に外出し、ホッキョクグマやトラなど迫力あ

る動物を見て大喜びでした。その後「ベビーフェイスプラネット」でお洒落なランチを堪能されています。おやつはクレープ屋さんで沢山あるメニューに迷いながらもご自身で好きなトッピングを選択し、楽しく幸せな一日となったようです。



③

畜産科7名は「ランチョ・エルパソ」へ行きました。事前注文の『おまかせ！お肉たっぷり弁当』を満面の笑みで堪能されています。その後緑ヶ丘公園へ行き、遊具で遊んだり、丘を駆け上ったりと童心に返り楽しまれています。



④

受託科7名は「うらほろ留真温泉」に出掛け、コロナ禍で傷ついた心と身体を癒しに行ってきました。昼食も温泉内レストランで好きな物を食べて大満足の様子でした。最後に「イトーヨーカドー」でおやつを購入しています。利用者様にとって、楽しく思い出に残る一日となりました。

コロナ禍で人が集まる場所を避けてきた外出行事ですが、感染対策を講じて計画を立て、実行をしています。今後も利用者様に楽しい思い出作りの機会を提供していきたいと思えます。

(滝石支援員)



美食の季節!?! スナッポシヨット集



七面鳥の試作作り

防災、応急処置訓練

9月13日、職員を対象とする防災研修を開催しました。研修では、まず非常災害発生時の職員の責務や対応内容を定めた「防災細則」を見返す事から始めました。「細則」には火災や地震、風水害、大雪など非常時において職員が参集する条件や避難経路など多くの決まり事が掲載されています。これらを確認する事で利用者様の命、安全を守る為の対応を改めて学習しました。研修後半では、施設内の消火器や警報装置の設置場所、施設の非常食や発電機等の防災備品の保管場所を確認しました。

卵から大事に

育てた七面鳥は



11月にスモークターキーの

試作品作りを



完成した試作品は

味や質など念入りに確認



12月に加工をして

お客様にお届けしています



廊下の防災備品を確認

また、9月16日には応急処置訓練を開催しました。怪我や急な体調変化、誤嚥なども想定し、状況に応じた対処法を学ぶ機会です。例えば「止血法」について。体内の3分の1以上の血液が失われると生命に危険が及びます。



止血法の訓練を実施

激しい出血の場合はすぐに止血を行われなければなりません。直接出血部位を圧迫する方法や、心臓に近い動脈を押さえる間接圧迫法があり、応急処置の初期動作として訓練しました。万一の事態においても冷静、適切迅速に対応が出来る様に日々学習を重ねております。(馬場支援員)

今までありがとう

退職職員紹介



支援員兼送迎担当職員
萩原 勝 支援員
勤続年数 5年
1月退職



看護主任
松本 あかね 主任
勤続年数 13年
12月退職

就労支援事業所

特別な日には、
格別なご馳走を!!

毎月のお楽しみ「誕生会メニュー」は、いつにも増して豪華な食事が提供されています。利用者様も献立メニューを見て「ケーキやジュースが当たるから楽しみ、美味しいよね!」と心をウキウキさせています。



今年は「世界のグルメ」と題して毎月1回各国の食事を味わって頂いています。この日はトルコ料理でした。

誕生月の利用者様にはプレゼントとして就労で製造しているパンと日常生活で役立つ物やプレゼントをしています。

就職までの道のり

就労移行支援事業所では、就職に向けて様々な活動を行なっています。学習活動では就職に向けたスキル向上の為の作業訓練や面接練習、挨拶や身だしなみ、履歴書の作成などの訓練や学習を行っています。就職活動は容易ではありませんが、安心して取り組めるようにサポートを行っています。また、就職後も利用者様の生活全般に関わる継続支援を行っています。



履歴書作成中
間違えないようゆっくり慎重に書いています



計量練習中
粘土をバターに見立てて練習しています



実習先でしっかり作業ができる様同じ段ボールで練習しています

さらに仕事をする事や就職への意欲の向上を図る為、ハローワーク訪問や職場見学や職場実習などにも参加して頂いています。

職場実習に参加されている様子です。
今年度は2名の方が就職されています。



就職が決まったら通勤経路の確認を兼ねてバスに乗車する練習をします。



就職が決まると通勤練習をしながら、バス時間や路線の確認をして通勤できるように準備をします。

今年度畜産事業科では、スモークターキー製造における経費削減を目的に、必要資材の見直しを行いました。そのひとつとして、皆様に製品をお届けする時の梱包用化粧箱のリニューアルを行いました。数十年使ってきた段ボールデザインの變更とあってやや寂しさもありましたが、心機一転新たな箱に入れて出荷できたことを喜ばしくも感じていきます。今年度も例年同様に生産・販売できたことと皆様にご注文いただき完売できたことに感謝



長い間使っていた「アレ」を
リニューアルしました☆



After



Before

申し上げます。ご家庭の食卓を豪華に楽しく彩ることができていたら幸いです。次年度も引き続き卵の孵化から始まり、育成や加工に取り組んでいきますので、今後ともご支援よろしく願います。
(ガディール支援員)



障害者支援施設 帯広はちす園

〒089-1242 帯広市大正町東1線102番地1
TEL 0155-64-5044
FAX 0155-64-5261
URL <http://www.shinsyukyoukai.jp/hachisu/>
MAIL hachisuen@shinsyukyoukai.jp

帯広はちす園
『そよかぜだより』
【編集委員長】
ガディール園恵
【編集委員】
山崎 秀一
木幡 由希子
紅露 道晃
奥村 圭吾
滝石 賢汰
廣江 美咲
佐藤 友那

《編集後記》
『そよかぜだより』令和3年冬季号いかがでしたでしょうか？少しづつ外出事が開催され、お知らせ内容が増えてきたことを嬉しく感じて今日この頃です。これから厳しい寒さがやってくる利用者の健康管理に努め、安心して楽しい生活ができる様にサポートを行います。また、紙面を通して日頃の様子をお伝えできる様にこれからも頑張ります！
(ガディール支援員)